






カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	地域の知の拠点である高知工科大学との連携強化を図り、地域の社会課題の解決に会員事業者とともに取り組む。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している		●	地域の総合経済団体として、経済振興、地域活性化に資することがミッションであること認識し、事業活動を実施していく。				4					9		11	12		14	15		17	
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	地域清掃などのボランティアや災害被災地への寄付活動などを随時行っている。				4							11			14	15		17	
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	香美市との連携で、香美市産材を使用した住宅新築・改築事業を推進している。また、地元農産品を活用した新商品開発や伝統的産業への支援などに努めている。									8	9		11	12					
	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している		●	研修の受講、適時朝礼等での啓発及びOJT等で職員へコンプライアンスの周知徹底を図っている。																	16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している		●	年度毎の事業計画に基づき、業務運営方針を職員が理解するとともに事業実施時に進捗管理を行っている。									8	9							17	
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している		●	情報共有を徹底し、チーム(組織)としてESGに対応する体制を構築していく。																	16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者(ステークホルダー) ※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)		●	情報共有を徹底し、チーム(組織)としてステークホルダーとの関係を適切に対処していく。																	16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	報告、連絡、相談の徹底と相互チェックにより、行動規範(法令等)から逸脱することの無いよう、体制を整備している。																	16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	法務リスク、環境リスク、信用リスク等々の業務遂行上また将来的に発生するリスクへの対応姿勢は、マネジメント且つテイクすることで持続的な事業活動を行う。																	16	
	46	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	地域の総合経済団体として、経済振興、地域活性化に資することがミッションであること認識し、責任ある商工会活動を実践する。今後は、HPなどで積極的に情報発信する。																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、感染症などに備え、事業継続計画(BCP)を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント(BCM)にも取り組んでいる		●	年1回はBCPマニュアルの自主点検を行い、事業継続の妨げになる事案には、適切に、臨機応変に対処できる体制を構築する。									9		11			13	13.1		16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	職員は、高知県商工会連合会からの出向(異動)であるが、適時に進言するとともに香美市に対しても状況に即した支援を要望するとともに組織として組織の存続について、検討・施策を行う。									8	9							17	
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている		●	BCPマニュアルに基づく、防災、減災対策を進める。また、情報の正確且つ早期の情報の入手手段を構築する。				4							11.5		13.1				16	
	50	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	災害発生時に支援拠点の一つとしての役割を担える体制づくりを急ぐ。また、AEDなどをはじめ防災グッズのリスト化、そして設置を促進していく。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	役職員はもとより会員事業所に対しても、普及啓発活動を実施する。具体的には、セミナー、会員へのチラシ配布などを行う。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、Uターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	人事権が高知県商工会連合会にあるため、有為な人材確保を要請していく。				4.4						8.5	8.6							17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	当商工会の管内は正しく中山間地域であり、事業承継、農林連携などの分野において、より一層の関係機関との連携強化を図る。										8	9		11					